

「分裂」「再編」はらむ代表選

細野・前原・岡田氏が浮上

| 党派別当選者数 | 合計 | 選挙区 | 比例 | 選挙前 |
|---------|-----|-----|-----|-----|
| 自 民 | 291 | 223 | 68 | 293 |
| 民 主 | 73 | 38 | 35 | 62 |
| 維 新 | 41 | 11 | 30 | 42 |
| 公 明 | 35 | 9 | 26 | 31 |
| 共 産 | 21 | 1 | 20 | 8 |
| 次世代 | 2 | 2 | 0 | 19 |
| 社 民 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 改 革 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生 活 | 2 | 2 | 0 | 5 |
| 幸 福 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 諸 派 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 無所属 | 8 | 8 | — | 17 |
| 合 計 | 475 | 295 | 180 | 479 |

(注)選挙前勢力は欠員1

15日昼前、民主党代表の海江田万里は都内のホテルで幹事長の枝野幸男と向き合った。ともに衆院選で首相(自民党総裁)の安倍晋三に「狙い撃ち」されたが、枝野は埼玉5区で辛勝した。海江田は比例復活もかなわず、落選の憂き目に遭った。

「代表を辞任させていたただく。いろいろありがとう…」と、神妙な面持ちでそう語る海江田に枝野は黙って頭を下げた。その後、代表代行の岡田克也、参院議員会長の郡司彰も加わり「敗戦処理」を協議したが、海江田は「後は全部任せる」とほとんどの口を挟まなかった。

出馬へ意欲満々

午後3時、海江田の辞任会見が東京・永田町の党本部で行われた。

「民主党の団結を守って来春の統一地方選で確実に民主党を再生させていけるよう心から希望します。再生は道半ばだが、前に向かっている着実な一歩だった。私はこれから一党員としてできるだけのことをやっていきたい」

うつすらと涙ぐんでいた14日夜とは違い、さばさはした表情だったが、言葉は力なく、得意

激流

海江田にとって自らの落選は誤算だったようだが、民主党議員の多くは選挙中盤から「海江田氏は落選」と踏み、ポスト海江田に向けて動き出していた。

「腹は固まっているんだらうな？」

開票結果がまだ出そろわない15日未明、元防衛副大臣の長島昭久は元幹事長の細野豪志に電話で代表選出馬を促した。「お話を代表選出馬を促した。『おう』。その言葉は力強かった。元外相の前原誠司も投票直前、周囲にこう漏らした。「次の代表は平成28年夏の参院選でねじれを作れるかどうかだ」。

出馬意欲は満々にみえる。

前原、細野、長島の3人は野党再編志向が強い。これに元外相の松本剛明を加えた4人は衆院解散直前の11月19日に、海江田に維新の党との新党結成を直談判したが、一蹴された。この時点ですでに海江田に見切りをつけたとされる。

だが、野党再編はそう容易で

自民追加公認加え291議席

第47回衆院選は15日、全475議席だった。

議席が確定した。自民、公明両党で、参院で否決された法案を再可決できる3分の2(317議席)を上回る議席を獲得し、圧勝した。自民党は選挙前の62議席から73議席に上積みした。維新の党は選挙前決まっていた3議席から8議席に増えた。公明党は選挙前の1議席から2議席に増えた。生活の党は選挙前の1議席から2議席に増えた。幸福の党は選挙前の0議席から2議席に増えた。無所属は選挙前の17議席から8議席に減った。

総務省は15日、投票率が選挙区52・66%、比例代表52・65%で確定したと発表した。戦後最低だった平成24年の前回衆院選(選挙区59・32%、比例代表59・31%)を6・66ポイント引き下げた。公示翌日の3日から13日までの期日前投票者数は131



確実に民主党を再生して一。新代表に党再建を託す海江田万里代表
—15日午後、東京・永田町の党本部(宮川浩和撮影)

はない。民主党最大の支持団体である連合は、維新の党共同代表(大阪市長)の橋下徹と対立しており、維新との合流に反対しているからだ。ある労組系議員はこう息巻く。

「前原、細野が代表選に出たら党は分裂してしまふ。あいつらが代表選に出るんだらたら絶対潰す！」

野党再編を唱える一派は保守系が多く、安保・外交に一言を持つ者も多い。それだけに官公労や旧社会党の系譜を引く議員らは嫌悪感を隠さない。

しかも来年の通常国会は、安倍が執念を燃やす安保関連法制が最大の焦点となる。旧社会党系は「断固阻止」と息巻いており、一部でも同調しかねない前原らの代表就任を承服するはずもない。

そこで労組系が擁立に動き出したのが岡田だ。どこの派閥にも属さぬ一匹狼であり、かつ安倍自民党との対抗意識は誰よりも強い。「岡田が代表なら前原らも反発して党を割るようなことはない」(党中堅)という読みもある。

民主不信は深刻

民主党を陰で牛耳る連合も決して一枚岩とはいえない。中でも旧同盟系の「民主離れ」は著しい。かつて「労組系最強」といわれた古本伸一郎(愛知11区)は、トヨタ労組の全面支援を受けながら苦戦した。基幹労連組織内議員で党代表代行の高木義明(長崎1区)、UASEN

この連載は石橋文登、坂井広志、水内茂幸が担当しました。

衆院選 2014